

1. 各団体の状況

2.HP のこと

3.今後の行動等

(1) 町田市に高齢者等の医療介護等の要請書と 11/9 懇談について

- 1) 要請書 7/24 提出・回答 8/24 受け取る
- 2) 再要請は、遅くとも 9/25（金）までに提出、その後回答を受け懇談へ
- 3) 再要請の項目は、何にするか？
 - ①「生活保護のしおり」を市の窓口に置くこと、「生活保護申請は権利です」のポスター作成と周知
 - ②老老介護殺人事件と対策について
 - ③下水道使用料金の再検討を
 - ④野津田公園スケートパークの建設場所の再検討を
- 4) 第 10 期介護保険計画について「いきいき生活部」に要請書提出：別紙参照

(2) 2026年9月市議会

1) 細野議員の国保険税の質問

- ①**所得 260 万円**、40 歳以上 65 歳未満の夫婦と子 1 人の 3 人の **26 年度モデル世帯は 483,200 円**
2020 年度比 112,240 円増。もし**町田市が法定外繰入もしない場合は 572,500 円**
注) 子ども子育て支援の料金は含まず **現行より 89,300 円増**
- ②2025 年度、赤字決算補てん等目的の繰入金は 11.4 億円（計画 16.1 億円よりも 4.7 億円減少）
法定繰入金が 2024 年度比 1.6 億円増加、**法定外繰入金は 7.1 億円減少、繰入金全体は 5.6 億円減少**
市：11.4 億円の赤字は被保険者が負担すべき。市独自の減免は考えてない、交付金の獲得に努力する。
26 年度国保税の問合せ：約 1400 件（内訳：保険料 30 件、子ども子育て支援金 40 件）
所得が変わらないのに保険税が高くなった。

2) 大野議員質問

- ①**学校統廃合後の避難施設は、教室や体育館は解体、100人収容できる施設を確保する。**
- ②**バス停留所上屋・ベンチ：今年度から都から1/2補助**
- ③**補聴器購入補助：25年度補助209件、26年8月末の申請230件中、補助62件**
- ④**団地いちょう通り“街路樹の枯損”：26年2月97本伐採の新芽に除草剤散布、隣の根に枯損（54本）**

3) 松葉議員の質問：単身高齢者が安心して住み続けられる支援について

- ①民生委員が高齢の方のご自宅を訪問します。市では、地域で見守り、支え合う活動を推進しています。

・75 歳以上の世帯に民生委員が年 1 回の訪問を、**今年度から「75 歳以上の単身世帯の方で介護保険サービス未利用の方」**。訪問時に各種相談先案内や救急医療情報キット案内、交通安全・防犯等チラシ配布。

②**人生会議のリーフレット、「わたしの道しるべ（チェックシート）」を作成**：大切にしていることや望んでいること、どんな医療や介護を受けたいか、受けたくないかを周囲の人たちと共有するプロセス。

③**「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」（町プロ）**：高齢者が安心して在宅療養を行える環境整備を推進するため、市と医師会が事務局で、医療や介護の 17 の専門職団体が参画するプロジェクト。

④**まちだあんしん終活便：社会福祉協議会が、2027 年 4 月～実施。初期費用 80 万円委託する必要。**
資金が無い方は、社協の「地域福祉権利擁護事業」や生活保護を検討する。

⑤**見守り手帳 75 歳以上を予定している。**

4) **田中議員：学校用務員が今年度から一部の学校で会計年度任用職員（8：15～15 時勤務）になった。**

・スケートパーク計画、市庁舎で模型展示での意見：560 件賛成 68 件、反対 69 件他の場所に 42 件

5) 殿村議員

(1) **下水道事業の国庫補助：27 年度から、下水道の污水管の更新工事において、ウォーター PPP の導入（または検討）をしないと国の補助金が出ないという方針**

①**下水道使用料を改定します（2027 年 1 月分から） 市の HP より**

・下水道事業では、污水处理費を下水道使用料収入で賄う独立採算が原則です。下水道使用料収入は、人口減少や節水意識の高まりなどによる使用水量の減少で、減収が見込まれています。・・・下水道使用料を適正水準とするためには、下水道使用料収入を現行よりも 35%増加させる必要があります。

・上水道が都、下水道が町田市、都の上水道料金は据え置き（今年度は夏季 4 ヶ月分の基本料が無償）。
他市も値上げがされていますが、町田市ほどの値上げ幅ではありません。（田中さん YouTube）

・モデルケースとして単身世帯だと約 75%値上げ、3-4 人家族だと約 35%値上げとなります。

(2) **町田駅周辺開発推進計画：A～D 地区（9.2ヘクタール）民間が実施、市は今年度から基金を設立**

・モノレールと D 地区開発で 25 億円予算・公社森野住宅建て替えは、JKK 東京が対応すべきもの

・D 地区について、まちづくり協議会で住民の 6 割の方が参加 25 年 2 月～6 回協議

・西側は、25 年～まちづくり勉強会実施、北側は勉強会実施 3 回

(3) **芹が谷公園“芸術の杜”整備計画の見直し：新しい体験型公園をめざす、27 年 6 月素案の計画予定**

・つどいは第 1 回 5 月、第 2 回 8 月、11 月市民参加ワークショップを 8 回、専門家の意見を聞く

<9/11 建設委員会 野津田公園スケートパークについての請願 2 件の審議は、不採択>

請願第 16 号「野津田公園スケートパークを、利用者にとって安全で魅力ある施設とするため、建設場所の再検討を求める請願」請願者は 30 年間の経験者とスポーツのインストラクター

- ・スケートボードは、湿気や落葉・小石・虫を嫌う。風通しが良い場所。候補地の湿生植物園は日当たり悪い、コケは適さない再検討を求む。野津田なら「多目的広場で屋根をつけたら良い場所」。

市：①音が問題にならない。②高低差が有り大規模な土地の整備がいらぬ。③駐車場が近くにある。他の公園等との比較はしていない。「多目的広場」は、サッカーの観戦者等の避難場所。

- ・落ち葉等は、管理者が清掃すれば問題ない。年間メンテナンス料 900 万円（内訳：管理 1 名 500 万円、管理 2 40 万円、照明等）動植物への移植等も対処している。

- ・友井：6/10 に請願 8 号が再審査、6/11 に市は入札しているが、議会を無視した行為。

市はこの場所での意見等は聞いているが、「一時とまって」検討していない

市：3 月に予算が決まった、他の場所は考えていない。

- ・友井：2014 年度の案では、片面利用が全面利用になった時期と、その理由

市：2023 年度に東京オリンピックのスケートボードへのニーズの高まりで検討した。

- ・友井市議：市民からの要望か。市：組織内で検討し決めた

4.情勢と社会保障

(1) 医療関係

1) 厚労省は国保料（税）の完全統一「原則 15 年度までに」。困難な場合「18 年度までに達成する」。特別調整交付金による財政支援の見直しも提示されているが、全く負担軽減にならない内容。

- ・8/31 東京都で国保運営協議会が開催され、パブリックコメントの募集、**メ切 10 月 6 日です！**

都は令和 17 年度に国保完全統一をめざすとして、収納率の向上対策を推進するとしています。

2) 70 歳以上の自己負担割合を検討すると年内のとりまとめ、来年の国会に法案提出へ。

3) OTC 類似薬の保険給付の見直しの実施に向けた技術的検討会が 8/6 に公表し「OTC 類似薬の保険給付の見直しの実施に向けた中間とりまとめ」についてパブコメに 897 件の意見が届けられた。

4) 高額療養費の負担限度額が 8 月から引き上げられた。これに関するパブリックコメントは約 5,300 件（政令案に約 4,300 件、省令案に約 980 件）。ほとんどが反対意見だったが、案の修正は「無し」。
高額療養費の限度額引き上げの撤回を求めるオンライン署名は 30 万筆を超

5) 都立病院が地域で果たしてきた役割を積極的に評価する一方で、今後老朽化の建て替え等による財政難で、縮小の方向が検討の俎上にあがってくることが考えられる。

(2) 介護関係

- 1) 日本の半数 介護外し危機 9 1 2 市町村 国がリストアップ 赤旗しんぶん 8/29 より
介護サービスの人員配置基準の緩和や保険給付から外す「特定地域」の可能性の自治体、9 1 2 市町村
- 2) 介護基盤の状況深刻（赤旗しんぶん 9/11）厚労省分科会で報酬値上げの声続出

(3)「税金滞納倒産」73%増 背景にインボイス制度（赤旗しんぶん 9/11）

(4) 未婚の若者 35%「結婚するつもりない」こども家庭庁初の大規模調査 8/21 朝日新聞

こども家庭庁は若者 10 万人対象に初の調査で、結婚より趣味や安定した仕事の確保を優先する傾向。

(5) 杉並区：8 月から中東情勢・物価高騰対策特例資金融資の実施：中東情勢や原油価格高騰などの影響を受け、売上高や営業利益が減少している区内中小企業を対象に、中小企業資金融資の特例措置を実施 訪問系障害福祉サービス事業所人材確保支援事業の対象拡大

(6) 自民維新が消費減税大綱を了承 政府、9 月 1 5 日に閣議決定 9/14（共同通信）

(7) 8/29 いま、地域社会での「孤立」を考える 石田光規氏（早稲田大学教授）

- ・研究の成果からみれば、「孤立・孤独は百害あって一利なし」
- ・つながりフレイル（孤立一歩前）の可能性：1 人で楽しむ→人と会う筋肉が落ちる→つながりフレイル
- ・必要になった時につながりを作ろうでは手遅れになりがち、限界を迎える前に足を運ぶ地域との繋がりを
- ・夫婦 2 足り暮らしが危ない、一人でないので民生委員も見過ごす。
- ・介護は申請しないと利用できない。医療現場と支援センターがつながる。
- ・予防に力を入れる、地域とのつながりを強化で居場づくり

5.行事・新署名取り組み

- (1) 9.23 さよなら原発 全国集会 代々木公園 B 地区 14 時～メイン集会 15 時パレード出発
- (2) 10.4 住まいは人権です 14 時～細谷紫朗氏（多摩賃借人ユニオン）講師 北多摩西教育会館
- (3) 10/17 第 24 回全国介護学習交流集会 志田伸也氏 14 時～17 時 ZOOM・YouTube 有
- (4) 10/29 1 時～ いのちまもる集会水上音楽堂（上野恩賜公園野外ステージ）⇒会場 1000 人規模
- (5) 11/1 介護 110 番に取り組みます（チラシ参照）
- (6) 町田市：（仮称）町田市地域公共交通計画（素案）」に対して皆様からご意見を募集します。
9/15（火）から 10/14（水）まで メールでの提出先 mcity8430@city.machida.tokyo.jp

次回 10/20（火） 18：30～ 中央公民館 学習室 6
